

(別紙４) 審査評価項目

要件項目	仕様書記載箇所	評価項目
1 基本事項		
① 本調達の目的		・本業務を遂行するにあたり、提案者の取組の姿勢を記述すること。 ・本システムの構築にあたり、次にあげる導入効果を得るためには、どのような点に留意し、どのような機能を備え、どのように実現していくか、それぞれ記述すること。 ①学生の利便性 ②教職員の負担軽減、業務の効率化 ③セキュリティリスクへの対策
② スケジュール		・開発工程から運用保守まで本プロジェクト全体のスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 ・クリティカルパスなど進捗管理上重要となるポイントや時期について記述すること。
③ 実施体制・進捗管理		・システムの本稼働までのまでのシステム開発体制（業務グループごとの構成、担当者の配置状況）について図示すること。 ・再委託を予定している場合は、再委託についての考え方、再委託先との役割分担についても記述すること。 ・上記体制図に記載したメンバーの経歴（資格、経歴、実績、経験年数）を記述すること。
2 システムに関する事項		
① システム利用に求める要件		・システム全体のイメージ図を作成すること。 ・「様式9 機能要件一覧」についての実現方法（ソフトウェア）や開発費用（千円・税抜、調達の費用内）を記述すること。 ・想定される課題・問題点があればその解決方法も併せて記述すること。
② 業務効率化につながる機能要件		・端末機器の操作性、作業の効率化、画面構成などの工夫について記述すること。
③ クラウドサービス		クラウドサービスについての基本的事項を記述すること。 （データセンターについての安全性や耐障害性、セキュリティに関する基本的な考え方、方針を記述すること。）
3 運用保守に関する事項		
① メンテナンス・運用保守要件		・本調達仕様書を確認の上、貴社が予定する運用保守業務内容、体制について記述すること。 ・運用保守に際しての貴社と本市のとの役割分担について記述すること。 ・障害発生時の体制、対応方法について記述すること。
② サポート体制・研修要件		・本調達仕様書を確認の上、貴社が予定する具体の業務内容、サポート体制、研修体制、マニュアル提供について記述すること。
4 その他に関する事項		
① データ移行		・現行のオンプレミスシステムに保存しているデータの移行について、作業概要、最も簡易で短時間でできる移行方法について提案すること。 ・移行に際しての制約事項、課題・問題点があればその解決方法も併せて記述すること。
② 追加提案		・本業務について、市にとって有用な機能や要件があれば提案すること。また、記述事項については、本業務の費用内かどうかとも明記すること。